

<http://www.shika-implant.org/>

インプラント
ニュース

since 1972

Japanese Society
of Oral Implantology

第14号

平成23年8月10日発行

Implant News No.14

公益社団法人 日本口腔インプラント学会会報

発行人 川添 堯彬 編集 公益社団法人 日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 芝コトブキビル301

TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

HP : <http://www.shika-implant.org/> Eメールアドレス : jsoi@peace.ocn.ne.jp

【本号のトピックス】

第41回学術大会案内, 新役員・委員会紹介

9月16日～18日は, 名古屋国際会議場でお会いしましょう

大会長 堀田 康記

最初に, 今回の東北地方太平洋沖地震に際し, 被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた方々へ心からのお悔やみを申し上げますとともに, 被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

幸いにも第41回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会開催地の名古屋には津波などの直接的な被害はありませんでした。このような国難の時に大規模な学術大会を開催することに躊躇の念はあります。しかしながら, 元気な日本を少しでも早く取り戻す一助になればと思い, 村上弘実行委員長をはじめ準備委員一同, 開催に向けての準備を進めています。

メインテーマとして“インプラント医療安全の推進行動”を掲げ, 知識だけでなくいかにそれを具現化していくかを考える大会にしたいと思います。詳しくは, 次頁の日程表をご覧ください。

日程で少し例年と違う点は, 例年金曜日に実施されていたケースプレゼンテーション試験が今大会では一日早まり, 9月15日(木)から始まるということです。受験者の先生方ご注意ください。それと, 16日(金)午後には, 当学会と学術協定

を取り交わしているドイツのDGI から7名の御高名な先生方が講演され, 同時通訳されます。また, 土曜日の午後にはアジア各国の若手インプラントロジストによるセッションも予定されております。

上記に加え, 各種委員会主導企画, 関連学会のセッション, ワールドサテライトセミナー, 女性インプラントセッション, ランチョンセミナー, 歯科衛生士・歯科技工士セッション等々, 盛りだくさんです。昨年COP10も開催された名古屋国際会議場の全館を借り切った開催となります。例年もそうですが, 今回も短い日程のため, いろいろな企画が同時進行します。また, 広い館内での移動距離も長くなり, 参加者の皆様には大変なご迷惑をおかけすると思いますがなにとぞご容赦のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に, 17日(土)夜の懇親会(於: 名古屋観光ホテル)では, 参加費以上の価値がある旬の味やグルメ料理, 加えてプロ歌手による余興も準備しています。勉強疲れを癒すとともに, 会員相互の交流を深める絶好の機会ですので, 事前参加登録時には懇親会参加のチェックもお忘れのないようお願い申し上げます。

第41回公益社団法人日本口腔インプラント学会・学術大会



インプラント 医療安全の 推進行動

2011年9月16日(金)～18日(日)

名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
TEL: 052-683-7711 FAX: 052-683-7777

大会長 堀田 康記 (公益社団法人日本口腔インプラント学会理事 中部支部 支部長)

実行委員長 村上 弘 (愛知学院大学歯学部 口腔インプラント科 教授)

主要プログラム		
16日(金)	<p>午後</p> <p>■ドイツインプラント学会 「世界のインプラントの潮流」</p>	<p>■専門医教育講座【認定委員会主催】 「咀嚼機能の回復とその長期維持に役立つインプラント治療戦略」 古谷野 潔(九州大学)</p>
	<p>午前</p> <p>■特別講演 「磁性アタッチメントのその後」 田中 貴信(愛知学院大学)</p> <p>■シンポジウム①【医療・社会保険委員会主催】 「インプラント医学の社会的貢献—唇顎口蓋裂患者に対する応用とその注意点—」 山下 佳雄(佐賀大学) 向山 仁(横浜市立みなと赤十字病院)</p>	<p>■基調講演 川添 堯彬(理事長)</p> <p>■シンポジウム②【教育委員会主催】 「遊離端欠損におけるインプラントの適応と限界」 江藤 隆徳(大阪歯科大学) 渡邊 文彦(日本歯科大学新潟) 池邊 一典(大阪大学)</p>
<p>ワールドサテライトセミナー 1・2 ランチョンセミナー 1～6</p>		
17日(土)	<p>午後</p> <p>■教育講演 「歯肉のあらたな可能性—医療応用に有望なiPS細胞源—」 江草 宏(大阪大学)</p>	<p>■教育講演 「医療安全(仮)」 橋本 進生(横浜市立大学)</p>
	<p>■シンポジウム④【学術・倫理委員会合同主催】 「骨移植材の現状と我が国における臨床応用の倫理的問題点」 宮崎 隆(昭和大学) 鬼原 英道(岩手医科大学) 後藤 昌昭(佐賀大学)</p>	<p>■シンポジウム⑤【学術委員会主催】 「インプラント治療の安全推進行動:安全・安心のためのチェックリスト」 古谷野 潔(九州大学) 矢島 安朝(東京歯科大学) 佐藤 裕二(昭和大学) 松井 徳雄(東京都開業)</p>
	<p>■若手インプラントロジストのワークショップ 「保存か抜歯してインプラントか?」 瀬良 郁代(大阪大学) 桑鶴 利香(九州大学) 関 威夫(関東・甲信越支部) 加藤 大輔(愛知学院大学)</p>	<p>■シンポジウム③【教育委員会主催】 「CAD/CAMガイドドサージェリーの適応と信頼性」 春日井 昇平(東京医科歯科大学) 白鳥 清人(中部支部)</p>
	<p>■日本口腔検査学会の集い 「インプラント治療における検査の有用性と将来性」 伊藤 太一(東京歯科大学) 有馬 嗣雄(関東・甲信越支部)</p>	<p>■国際セッション 「Asia's Next Generation Implantologists Session」 アジアの次世代インプラントロジストセッション —中国,台湾,韓国,フィリピン,シンガポール,インド— 中国:Chen Bo(Peking University School of Stomatology) 台湾:Alex Yi-Min Tsain(National Taiwan University) 韓国:Jaehyun Shim(Korean Dental Implant Institute) フィリピン:Jay Hansel I. Tabije(St. Jude Hospital & Medical Center) シンガポール:Marlene Teo(TP Dental Surgeons, Singapore) インド:Farrukh Faraz(Maulana Azad Institute of Dental Sciences)</p>
<p>CTセミナー イブニングセッション 1～9 ワールドサテライトセミナー 3・4 テーブルクリニック 1</p>		

事前参加登録期間:8月26日(金)まで

大会参加申し込み(事前登録)は、第41回学術大会ホームページ上にて受付いたします。

<http://www.congre.co.jp/jsoi41/>

大会事務局 愛知学院大学歯学部 高齢者歯科学講座 口腔インプラント科内
〒464-8651 名古屋市千種区末盛通2-11
TEL:052-751-7191 FAX:052-751-7193 E-mail:jsoi41@dpc.aichi-gakuin.ac.jp

運営事務局 お問合せ先 株式会社 congru 中部支社
〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-13 栄第一生命ビルディング 8F
TEL:052-950-3369 FAX:052-950-3370 E-mail:jsoi41@congre.co.jp

【大会参加登録費】

	資格	事前(8/5まで)	当日
会員		15,000円	20,000円
非会員	歯科医師、一般	20,000円	25,000円
準会員・非会員	歯科技工士・歯科衛生士	7,500円	9,000円
	コデンタルスタッフ	7,500円	9,000円
	学生(大学院を含まず)	3,000円	3,000円
懇親会(できる限り事前登録をお願いいたします)		10,000円	12,000円

※正会員であっても歯科技工士・歯科衛生士の大会参加登録費は、準会員扱いとなります。

午前	<p>■専門歯科衛生士セミナー【専門歯科衛生士委員会主催】 「各種診療所における歯科インプラント治療への歯科衛生士の関わり方の現状」 尾谷 始子(東京歯科大学) 砂原 美鈴(九州支部) 大賀 亜由美(九州支部)</p>	<p>■専門歯科衛生士教育講座【専門歯科衛生士委員会主催】 「インプラントメンテナンスの基礎知識と実践」 小林 明子(関東・甲信越支部)</p>
	<p>■専門歯科技工士教育講座【専門歯科技工士委員会主催】 「インプラント治療の長期安定を目指した上部構造について」 飯島 俊一(関東・甲信越支部)</p>	<p>■EBMセミナー 「EBM, 診療ガイドラインの現況と課題 —Minds の役割を含めて—」 吉田 雅弘(公益財団法人 日本医療機能評価機構EBM 医療情報部)</p>
	<p>■顎顔面インプラント学会との共催シンポジウム 「抗血栓療法患者のインプラント手術」 矢郷 香(慶応義塾大学) 井上 孝(東京歯科大学)</p>	<p>■臨床の疑問に答える 重原 聡(関東・甲信越支部) 春日井 昇平(東京医科歯科大学) 中村 環(大阪大学) 中村 社綱(九州支部) 児玉 利朗(九州支部) 前田 芳信(大阪大学)</p>
	<p>■歯科麻酔セミナー 小谷 順一郎(大阪歯科大学) 一戸 達也 (東京歯科大学)</p>	<p>■女性インプラントロジスト育成のためのセミナー 「女性インプラントロジストへの道を阻むもの」 立川 敬子(東京医科歯科大学) 中台 麻美(日本大学) 吉村 理恵(九州支部) 高田 尚美(関東・甲信越支部)</p>
CTセミナー		
テーブルクリニック 2・3		
ランチョンセミナー 7~11		
午後	<p>■医療従事者のためのセミナー 「21世紀型のリハビリテーション医学 ~実践的な展開を踏まえて~」 武田 則昭(川崎医療福祉大学)</p>	<p>■専門歯科技工士セミナー【専門歯科技工士委員会主催】 「新素材ジルコニアのインプラント治療への応用」 伴 清治(愛知学院大学) 山下 恒彦(ロサンゼルス市開業)</p>
	<p>■基礎医学者の集い 「オッセオインテグレーションの成否を決めるインプラント表面因子は何か」 武部 純(岩手医科大学) 李 昌一(神奈川歯科大学)</p>	<p>■認定・試験・編集委員会セミナー【認定・試験・編集委員会主催】 「認証医・専門医資格取得のためのガイダンス」 認定委員会: 藤井 俊治(東京女子医科大学) 試験委員会: 細川 隆司(九州歯科大学) 編集委員会: 高森 等(日本歯科大学)</p>
	<p>■歯科放射線学会の集い 「インプラント診療のための画像解剖:パノラマ, CT, 歯科用コーンビームCT」 内藤 宗孝(愛知学院大学) 河合 泰輔(日本歯科大学)</p>	
ワールドサテライトセミナー 5		
テーブルクリニック 4・5		

研修施設名変更

- ・(旧) 日本大学松戸歯学部附属歯科病院インプラント診療科
⇒(新) 日本大学松戸歯学部附属病院口腔インプラント科
- ・(旧) 九州大学病院インプラント外来
⇒(新) 九州大学病院再生歯科・インプラントセンター

平成22年度 新規指定研修施設

- ・滋賀医科大学医学部附属病院歯科口腔外科
施設長：山本 学
- ・岩手医科大学附属病院歯科医療センター・口腔インプラント科
施設長：近藤尚知
- ・奥羽大学歯学部附属病院口腔インプラント外来
施設長：山森徹雄
- ・秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科
施設長：福田雅幸
- ・兵庫医科大学歯科口腔外科
施設長：岸本裕充

平成22年度 指導医合格者

大久保力廣(鶴見大学歯学部附属病院)
末瀬一彦(大阪歯科大学附属病院)
川口和子(鶴見大学歯学部附属病院)
村上 慶(九州インプラント研究会)
溝口 尚(社団法人日本歯科先端技術研究所)
山西泰史(インプラント再建歯学研究会)
江原雄二(京都インプラント研究所)
吉村治範(北海道形成歯科研究会)
坂根清文(日本インプラント臨床研究会)
立川敬子(東京医科歯科大学歯学部附属病院)
飯島俊一(九州インプラント研究会)
浅井澄人(社団法人日本歯科先端技術研究所)
(以上12名)

平成22年度 専門医合格者

- ▼ジャシド
磯村哲也
- ▼ユニバーサルインプラント研究所
細谷真人, 森山広之, 伊藤剛史, 馬場 清
- ▼愛知インプラントセンター
水野直紀
- ▼京都インプラント研究所
古味伸一, 清水誠治, 遠藤為成, 松木直人
- ▼九州インプラント研究会
中澤正博, 米谷敬司, 一柳あゆみ, 原 俊浩,
梅田和徳, 丸谷和弘, 竹下賢仁, 木村浩幸
- ▼九州歯科大学附属病院口腔インプラント科
松本恭宜, 正木千尋
- ▼九州大学病院再生歯科・インプラントセンター
鮎川保則, 山添淳一
- ▼口腔インプラント生涯研修センター
鈴木 龍, 横山幸夫
- ▼社団法人日本歯科先端技術研究所
村田 充, 五十嵐崇恭, 竹島明道, 野村明広,
関本浩貴, 遠藤富夫, 川瀬恵子
- ▼昭和大学歯科病院
井上 学
- ▼青森インプラント研究会
中野正博
- ▼大阪口腔インプラント研究会
英保裕和, 詫間俊夫, 國本 武
- ▼大阪歯科大学附属病院口腔インプラント科
新井是宣, 金平俊毅
- ▼大阪大学歯学部附属病院
中野 環
- ▼朝日大学歯学部口腔インプラント科
山田尚子
- ▼鶴見大学歯学部附属病院口腔顎顔面インプラント科
石井聡至
- ▼東京医科歯科大学歯学部附属病院インプラント外来
渋谷麗奈, 黒田真司, 中田秀美
- ▼東京形成歯科研究会
田 昌守, 西山和彦, 相澤八大, 寺田利久,
磯辺和重

- ▼東京歯科大学歯学部附属病院インプラント外来
高藤恭子
- ▼東京歯科大学附属病院口腔インプラント科
関根秀志, 井上敬介
- ▼日本インプラント臨床研究会
草間幸夫, 木村茂夫, 甲斐智之, 森岡千尋,
辻 勇人
- ▼日本歯科大学新潟生命歯学部附属病院口腔イン
プラントセンター
伊藤秀俊
- ▼日本歯科大学附属病院インプラント診療センター
山田麻衣子
- ▼日本大学松戸歯学部附属病院口腔インプラント科
村上 洋
- ▼福岡歯科大学インプラント科
森永博臣, 川前通朗
- ▼北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系
クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野
北所弘行, 村田 勝, 仲西康裕
- ▼北海道形成歯科研究会
佐藤範幸, 本淨 学, 風間 慶, 有坂一男
- ▼北日本口腔インプラント研究会
牧野 朗
- ▼名古屋大学医学部附属病院歯科口腔外科
畑中隆志
- ▼臨床器材研究所
上原 亮, 利森 仁

(以上73名)

平成22年度 インプラント専門 歯科衛生士合格者

- ▼関東・甲信越支部
(千葉県)大塚和美, 吉岡美奈
(茨城県)塚田幸恵
(埼玉県)島崎 薫
- ▼中部支部
(三重県)江崎杏奈
- ▼近畿・北陸支部
(滋賀県)黒岩さちこ
- ▼九州支部
(大分県)井上聡子

(以上7名)

平成22年度 インプラント専門 歯科技工士合格者

- ▼関東・甲信越支部
(長野県)渡邊浩一

(以上1名)

第8回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会開催案内

メ	イ	ン	テ	ー	マ:	『適切な診断および安全・安心のインプラント治療』
日					時:	平成23年11月26日(土)、27日(日)
場					所:	大阪歯科大学(大阪市中央区大手前)
担					当:	江藤隆徳
参	加				費:	25,000円
宿					泊:	なし(各自でおとりください。宿泊費は自己負担です。)
募	集	人			数:	100名
単					位:	10単位

第3回BLS講習会開催案内

日					時:	平成23年11月13日(日)
場					所:	大阪歯科大学附属病院(大阪市中央区天満橋)
募	集	人			数:	24名(定員になり次第、締め切ります)
締	め	切			り:	平成23年10月31日(月)
参	加				費:	18,000円(昼食代込み、テキスト、フェイスマスクは別途各自でご購入ください。)

第7回 口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会 開催報告

教育委員会 委員長 渡邊 文彦

7月2日(土)、3日(日)の2日間、東京医科歯科大学M&Dタワーにて同大学大学院医歯学総合研究科インプラント・口腔再生医学教授で日本口腔インプラント学会教育委員会委員の春日井昇平先生のもと、学会教育委員会主催の第7回専門医臨床技術向上講習会が開催された。講習会受講者は2日間すべての講演を受講することで10単位が認められており、適切な参加が行われているかの確認から認定委員会より藤井俊治、加藤仁夫先生がスーパーバイザーとして参加した。7月2日午後1時から受付を開始、午後1時30分から開講式が行われ、教育委員長の渡邊文彦より、公益社団法人となり、社会に益々日本口腔インプラント学会として安全・安心なインプラント治療を提供すると共に会員12,000人の中にはインプラント治療に対して経験の浅い人もあり、この方の指導も重要であることから本講習会の目的について説明、挨拶が行われた。午後1時40分各演者による講演がスタートした。今回の第7回専門医臨床技術向上講習会の参加者はぎりぎりまで申し込みがあり、プログラムに載らなかったものも含め96名であった。プログラムでは第1日目は最初の演者は榎本紘昭先生(新潟県開業、日本歯科大学新潟生命歯学部臨床教授)であったが体調の問題からご都合が付かなくなり、急遽、渡邊文彦(教育委員長)が代わり、その後はプログラム通り、勝山英明先生(神奈川県開業、神奈川歯科大学客員教授)、前田芳信先生(大阪大学大学院)、重原 聡先生(神奈川県開業、九州インプラント研究会)が講演した。渡邊文彦はインプラント治療に関する留意点、勝山英明先生はインプラント治療を難易度とコンセンサスから分析する、前田芳信先生はインプラントオーバーデンチャー：インプラント治療における安全・安心のために、重原 聡先生はCTとガイドドサージェリーの利点と注意点のテーマでそれぞれ1時間ずつ講演した。その後、明日講演予定の演者、井汲憲治先生

(群馬県開業、日本臨床インプラント研究会)、佐藤淳一先生(鶴見大学歯学部)も加わり、午後6時より加藤仁夫先生(教育委員会委員 日大松戸歯学部口腔顎顔面インプラント)の座長により1時間の全体ディスカッションを参加者と講演者が一体となり、シンポジウム形式で開催した(図1, 2)。ディスカッションではオープンサージェリーとノンフラップサージェリーの適応、CAD/CAMを用いたサージカルガイドプレートの骨支持、粘膜支持の比較、オーバーデンチャー症例での上顎への適用時のインプラント数、マグネット、バー、ball& socketアタッチメントの選択、Bis-phosphonate服用患者のBP系薬剤関連顎骨壊死(Bis-phosphonate-related osteonecrosis of the jaws : BRONJ)の発症の問題点、糖尿病患者のHbA1cの数値とインプラント禁忌症などの質問が会場から出され活発に議論された。午後7時15分より東京医科歯科大学内にある9階にあるレストランにて懇親会が開催された。教育委員長の渡邊文彦より1日のねぎらいの挨拶の後、講習会参加者を代表して東北北海道支部の懸田利孝先生が乾杯のご発声を頂きその後、この懇親会が始まった(図3)。懇親会では講演者への質問、参加者の懇親や意見交換など活発に行われた。午後9時懇親会は終了した。

第2日目は午前8時30分時参加者の受付が開始され午前9時より川添堯彬理事長のご挨拶があり、2日目のプログラムを開始した(図4)。教育委員会委員 永原國央先生(朝日大学歯学部 口腔インプラント学講座)の座長で井汲憲治先生(群馬県開業、日本インプラント臨床研究会)は適切なインプラント治療へのアプローチ、佐藤淳一先生(鶴見大学歯学部)はインプラント治療への骨造成の注意点についてそれぞれ1時間ずつ講演した。その後前日講演した演者を含め、ステージに演者全員の席を設置し、1時間の質疑、ディスカッションを行った。ディスカッションではCAD/

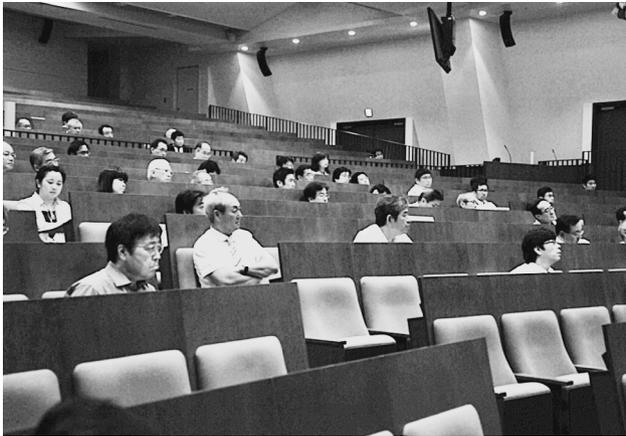


図1



図3



図2



図4

CAMによる診断の精度，CBCTと医科用CTとの違い，骨密度と臨床的な感覚，CAD/CAMによる骨支持型と粘膜支持型サージカルガイドプレートの精度，国内で，厚生労働省認可で使用可能でかつ最もよい骨補填材は何か，骨移植を成功させるための条件は何か，サイナスリフト時のピエゾとハッチリーマー等の切削との比較，上部構造の材料の選択と利点についてなどの質問が会場より座長のコーディネートのもと参加者と講演者が一体となり活発な議論が行われた。30分の昼食の後午後12時30分より若松陽子先生（関西学院大学教授 学会顧問弁護士）がインプラント治療に関わる法律問題のテーマで1時間講演した。講演は近年インプラント治療による医療訴訟が多くなってきていること，またこれに対して我々会員が

どのように対応，防御していけばよいのかを分かり易く講演した。質疑では患者さんからの訴えがあった場合，直ちに裁判所へ出頭しなければならないのか，その対応はまた，患者さんと話し合いでテープ等の記録を取った場合これは有効となるのかなどについての質問が出された。引き続き午後1時30分より午後2時まで認定委員会の藤井俊治先生より専門医申請，更新，指導医申請，更新についての方法の変更点，専門医臨床技術向上講習会，BLS講習会の単位認定について説明が行われた。午後2時より閉講式が行われ，それぞれ参加した受講者に一人一人に受講証が渡され，講習会を終了した。次回第8回は大阪歯科大学で11月26日，27日に開催予定である。

第2回 BLS講習会報告

教育委員会 委員長 渡邊 文彦

平成23年6月26日(日), 認定委員会の協力のもと, 教育委員会が主催し公益社団法人 日本口腔インプラント学会 第2回BLS講習会が, 東京九段の日本歯科大学にて, 参加者17名で開催された。講習時間は午前9時~午後5時までで, American Heart Association(AHA)の日本ACLS協会所属のインストラクターにより開催された。午前8時半より受付を開始し, 9時教育委員長渡邊文彦が挨拶し, スタッフの紹介のあと3名ごとのグループに分かれ開催した(図1)。報告の前に学会としての講習会開催の必要性について少し説明しておく, BLS (Basic Life Support) は口腔インプラント治療の, 日常生活の中でも遭遇する, 周囲の方の心停止時の対応として医療系の公益社団となった我々の人命救助の必要性, また医療においては外科処置時の全身の状態の緊急時の対応から学会として開催している。現在, 口腔外科, 顎顔面インプラント学会での専門医, 認定医取得にはこれを受講することが必須となっている。もちろん形式だけではなく, 実際上の緊急時の対応が求められており, これを行ったのかが行わなかったのかが医療訴訟時の対応で大きな問題となる。このような点から多くの口腔インプラント学会の会員の方(歯科医師, 歯科衛生士, 歯科技工士)に定期的受講して頂くために開催している。また今回から指導医の申請, 更新時にはBLSの受講が必須条件となっている。

講習会はCPUと人工呼吸を何度も繰り返し実習を行った。また小児やひとり救急蘇生, 複数による救急蘇生, AEDの使用と人工呼吸, CPUとの組み合わせなどを一日かけて身体で繰り返し練習を行った。かなり体力的にもハードであった。また午後からは食道に誤って食物や異物がつまり, 呼吸停止した場合にハイムリッヒ法のトレーニングも行った(図2)。午後4時からは最終の実技試験と理解度を示す筆記試験が行われ, 受講者全員が合格した。午後5時全日程を終え修了書が手渡され講習会を終了した(図3)。おそらく明日, 明後日は筋肉痛となる方もおられるのではないかと心配している。次回第3回のBLS講習会は平成23年11月13日(日)大阪歯科大学で開催予定となっている。



図1

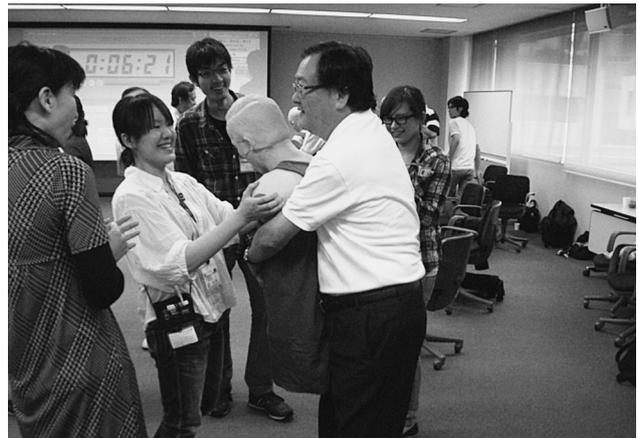


図2



図3

インプラント専門歯科衛生士制度のご案内 & 最近のトピックス

専門歯科衛生士委員会 委員長 永原 國央

本学会が認定するインプラント専門歯科衛生士制度は、口腔インプラント治療介助及びそのメンテナンスを通し、歯科衛生士の口腔インプラント治療に対する専門的知識と技術を確保し、口腔インプラント治療の発展及び向上を通して国民の口腔保健の増進に貢献することを目的とし、平成19年度に制定されました。

暫定期間の申請も終わり、平成22年度より試験が実施されています。平成22年度は、平成23年2月6日に試験が実施され、申請書類で提出されている症例報告3例の中から1症例についてのケースプレゼンテーションを行い、それに関する口述試験を行いました。

インプラント専門歯科衛生士の申請資格には以下の条件を満たしていることが必要となります。

- *日本国歯科衛生士の免許証を有すること。
- *2年以上継続して本学会の正会員であること。
- *3年以上インプラント治療の介助又はメンテナンスに携わっていること。
- *本部学術大会及び支部学会大会に各1回以上参加していること。
- *インプラント専門歯科衛生士教育講座を2回以上、受講していること。
- *口腔インプラント専門医2名の推薦があること。
- *上部構造装着後2年以上経過した症例の口腔インプラント治療介助又はメンテナンスを行った経験が3例以上あること。

また、資格取得後も5年毎に更新手続きをする必要があります。詳しくは公益社団法人日本口腔インプラント学会ホームページをご覧ください。

歯科衛生士という職業柄、歯科医師の指示あるいは連携により患者さんの治療に携わっていくこととなりますが、患者さんは歯科衛生士に対して多くの質問などの話しをしてくれます。すなわち、最も患者さんに近い立場で、歯科インプラント治療が安全・安心なものであることを理解して頂くと同時に、治療がスムーズに進んでいくよう配慮する必要があります。そのためには、十分な知識を付けておく必要があります。

この専門歯科衛生士認定制度は、暫定期間が終了

し口述試験が始まった平成22年度からは、知識を付けた専門歯科衛生士を育成すると同時に、その様な歯科衛生士の方に本制度の資格認定を行うようにしていきたいと考えています。

そこで、以下のような内容について口述試験では回答頂き、評価するようになりますので、日頃より臨床において研鑽を積んで頂きたいと考えます。

1. 総論として、インプラント治療の歴史と種類(形態と材質、1回法・2回法システム、即時埋入・即時荷重についてなど)。2. 各論としては、1) 術前処置(診査、検査、治療計画に立案、インフォームドコンセントなど)、2) インプラント手術(一次手術、二次手術、軟組織のマネージメントなど)、3) 補綴処置(印象採得法など)、4) メンテナンス(その重要性和内容、プロフェッショナルケアなど)といったものです。さらに、1) 全身管理について(バイタルサイン、モニタリングの必要性、患者への声かけ、緊急時の対応: 救急蘇生など)、2) 外科処置について(清潔・不潔、滅菌方法・消毒薬、滅菌物の取り扱い、手術環境の整え方、手術器具、インプラント埋入器具、埋入手術術式、インプラント体取投注意点、使用済み器材処理手順、手術術後注意事項など)といったものです。この内容は受験申請受付証明書を郵送する際にお知らせいたします。

現在、歯科衛生士の正会員数は約1,200名で、これまでに本制度にて認定された専門歯科衛生士の人数は876名です。歯科インプラントの治療普及のために大きな力を担って頂く専門歯科衛生士の方には、それぞれが資格取得に対して誇りを持って頂くと同時に、常に患者さんに対してより良い歯科インプラント治療を受けるための相談役として、あるいは、歯科医師にとって頼りになる歯科インプラント治療のアシスタントとして活躍して頂きたいと思っております。

専門歯科衛生士委員会では、本部学術大会および支部学術大会で専門歯科衛生士教育講座を行い、よりよい情報提供を行い、最新の知識と技術を習得して頂くよう講演を行うと同時に、本部学術大会では、歯科衛生士セミナーを開催し、各診療所規模に合わせた情報交換ができるよう企画しております。ふるって御参加をお願いします。

新役員紹介

以下の先生方が平成23年4月24日から平成24年6月総会日の役員ですので紹介いたします。なお()内は所属を示しています。

▼理事長

川添堯彬(大阪歯科大学理事長・学長)

▼専務理事

山内六男(朝日大学歯学部教授)

▼常務理事

松沢耕介(松沢歯科医院院長)※東北・北海道
支部長

伊東隆利(医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院
院長)

前田芳信(大阪大学大学院教授)

渡邊文彦(日本歯科大学新潟生命歯学部教授)

▼理事

阿部成善(あべインプラントクリニック院長)

山根 進(医療法人社団 山根歯科医院院長)

諏訪文彦(大阪歯科大学教授)

相浦洲吉(アイ歯科医院院長)※関東・甲信越支
部長

堀田康記(堀田歯科院長)※中部支部長

木村博人(弘前大学医学部教授)

赤川安正(広島大学大学院教授)※中国・四国支
部長

塩田 真(東京医科歯科大学大学院准教授)

江藤隆徳(大阪歯科大学教授)※近畿・北陸支
部長

後藤昌昭(佐賀大学医学部教授)

宮崎 隆(昭和大学歯学部教授)

築瀬武史(医療法人社団泰峰会 ヤナセ歯科医
院院長)

古谷野潔(九州大学大学院教授)※九州支部長

▼監事

長岡英一(鹿児島大学大学院教授)

石野敏明(TIエブリシング代表)

井出吉信(東京歯科大学教授)

第42回 公益社団法人日本口腔インプラント学会 学術大会

日 時：2012年(平成24年)9月21日(金)～9月23日(日)

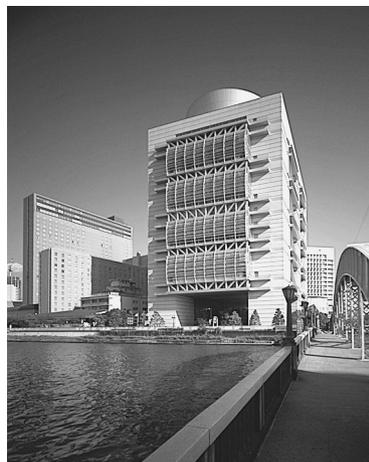
場 所：大阪国際会議場

大 会 長：江藤 隆徳

(大阪歯科大学附属病院口腔インプラント科、
公益社団法人日本口腔インプラント学会理事、
近畿・北陸支部長)

準備委員長：馬場 俊輔

(大阪歯科大学 口腔インプラント科)



公益社団法人 日本口腔インプラント学会・各種委員会委員名簿

(任期：平成23年4月24日～平成24年6月総会終結日まで)

委員会名	委員長	副委員長	委員
庶務	山内六男		川添堯彬, 松沢耕介, 伊東隆利, 前田芳信, 渡邊文彦, 山根進, 相浦洲吉, 堀田康記, 江藤隆徳, 赤川安正, 古谷野潔
財務	山根進	阪本貴司	山内六男, 相浦洲吉, 定永健男, 神田昌巳, 川口和子
編集	諏訪文彦	代居敬	伊藤充雄, 高森等, 細川隆司, 又賀泉, 松浦正朗, 吉成正雄, 安孫子宜光, 今井弘一
学術	前田芳信	古谷野潔	大塚隆, 萩原芳幸, 井上孝, 宮崎隆, 矢島安朝, 越智守生, 佐藤裕二
教育	渡邊文彦	松浦正朗	春日井昇平, 矢島安朝, 江藤隆徳, 加藤仁夫, 永原國央, 松下恭之, 廣瀬由紀人, 前田芳信, 廣安一彦
用語	赤川安正	加藤仁夫	松浦正朗, 宮崎隆, 塩田真, 原宜興, 児玉利朗, 内藤宗孝
認定	松沢耕介	堀田康記 高森等	涌本昇, 松浦正朗, 藤井俊治, 浅賀寛, 築瀬武史, 片山幸太郎, 尾関雅彦, 加藤仁夫, 永原國央
試験	阿部成善	細川隆司	後藤昌昭, 代居敬, 尾関雅彦 越智守生, 三嶋颯, 小川優, 西郷慶悦, 佐藤裕二, 嶋田淳, 萩原芳幸, 村瀬博文, 田中譲治, 藤野茂, 塩田真, 奥寺元, 田川清, 村上弘, 式守道夫, 岸民祐, 岸克好, 横田誠, 香月武, 梅原正年, 山上哲賢, 佐藤聡, 矢島安朝, 澤瀬隆, 藤井俊治, 片山幸太郎, 山根進, 森本啓三
会則	木村博人	塩田真	藤野茂, 高嶋秀隆, 末瀬一彦, 森永太, 田中悟
国際渉外	渡邊文彦	井上孝	前田芳信, 萩原芳幸, 阪本貴司, 佐藤博信
倫理	後藤昌昭	若松陽子	古原英男, 吉村治範, 築瀬武史, 杉田基, 奥寺元, 萩原芳幸
医療・社会保険	伊東隆利		奥寺元, 江原雄二, 小森規雄, 田島伸也, 横山敦郎, 築瀬武史
表彰		相浦洲吉	山内六男, 西郷慶悦, 扇内秀樹, 三村義昭, 長嶋駿一郎, 岸克好
広報	春日井昇平	五十嵐俊男	十河基文, 山内六男, 内藤宗孝, 北川昇, 嶋田淳, 土屋直行
専門歯科衛生士	永原國央	三上格	村井健二, 田中悟, 松井孝道, 松岡恵理子, 阿部田暁子, 柏井伸子
専門歯科技工士	末瀬一彦	岸民祐	石井良明, 山田雅夫, 佐藤博信, 郷上勲, 江黒徹, 木村健二
中央選挙管理	高橋康則	涌本昇	森永太, 田中悟, 山口陽道, 志賀泰昭, 藤野茂
認定制度検討	川添堯彬	伊東隆利	山内六男, 松沢耕介, 市川哲雄, 堀田康記, 渡邊文彦, 永原國央, 末瀬一彦

各種委員会紹介

庶務委員会

委員長 山内六男

庶務委員会は、理事長、専務理事、常務理事4名、常務理事以外の支部長5名、財務委員長の合計12名で構成されており、年間6回程度開催されています。

庶務委員会の主な活動は、各種委員会からの理事会、総会等への上程議題のとりまとめ、学会の事業計画の策定並びに各種委員会等への付託事項の検討、学術大会の方針検討、などです。また、会員からの要望を支部長やホームページ等を通じて吸い上げるのもつとめの一つです。学会への要望等がありましたら、お申し出ください。

財務委員会

委員長 山根 進

財務委員会は予算および決算書の作成、財務状況の把握(月次決算書の作成、確認)、本会計普通預金からの引き出し伝票の確認、委員会開催の飲食費に伴う申請書の確認を主な仕事としています。平成22年11月11日に日本口腔インプラント学会が社団法人から公益社団法人への移行に伴い、資金の範囲が流動資産—流動負債から、総資産—総負債と会計基準が変わりました。平成22年4月1日～11月10日までの社団法人平成22年度決算書、平成22年11月11日～平成23年3月31日までの公益社団法人平成22年度予算と決算書および平成23年4月1日～平成24年3月31日までの平成23年度予算の作成を行ってきました。東日本大震災のために、平成23年4月24日に総会が遅れて開催され、社団法人平成22年度事業報告書と決算書が承認されました。

編集委員会

委員長 諏訪文彦

本委員会は、10名の委員で構成され、年間4号の学会誌発刊に、そして、学術的にすぐれた情報を早く会員へお届けするように精励しています。また、英文誌発刊に向けてワーキンググループを立ち上げ、3回の協議を重ね、英文誌発刊の提言を、理事会に提出しました。論文投稿に対して感謝を申し上げ、多数の論文投稿(日本語・英語)を心からお待ちしております。

学術委員会

委員長 前田芳信

委員会は、古谷野、井上、大塚、越智、佐藤、武田、萩原、宮崎、矢島の委員で構成した。

平成22年度は、第40回大会での「メインテーマにそったシンポジウム」、「若手インプラントロジストのワークショップ」、「臨床の疑問に答える」の企画、準備、運営を担当するとともに、インプラント治療に関するリスクファクターに関するガイドラインの作成の準備を行った。

また、学会運営のしおり、抄録投稿規定、課題講演の審査方法の見直しも行い、それぞれ申し合わせを改訂した。

なお、40回大会でのシンポジウムからの提言は学会HPに掲載を予定するとともに、インプラント患者の高齢化にともない、家族、介護師、看護師にインプラントに関する正確な知識と清掃の方法について知ってもらうための冊子の製作を決定したが、23年度には印刷物あるいはホームページのPDFとして実現できるものと期待している。

教育委員会

委員長 渡邊文彦

教育委員会は学会員の知識、技術向上、口腔インプラント教育基準、ガイドライン作成を主務として、専門医臨床技術講習会やBLSの開催、口腔インプラント治療指針、ガイドラインの作成、卒前、卒後の口腔インプラント教育基準の作成、臨床基礎実習模型を含むカリキュラム案の作成を11名の委員会メンバーで活動している。今年度は7月に第7回専門医臨床技術講習会を東京で、11月に第8回専門医臨床技術講習会を大阪で、また6月、東京でBLSの講習会を、11月に大阪でBLSの講習会を開催予定している。口腔インプラント治療指針については、近日中に原稿の素案をまとめる。卒前口腔インプラント教育に関しては卒前口腔インプラント臨床基礎実習模型をニッシン(株)に依頼し、2年間で検討、作成してきたが、この試作モデルを用いた実習内容について本年度7月に開催の日本歯科医学教育学会で発表する。

用語委員会

委員長 赤川安正

用語委員会では川添理事長の命を受け、新しい専門用語集を編集し、本年3月に発刊いたしました。この用語集は、平成15年に出版された口腔インプラント学会用語集をベースとし、国内外の口腔インプラント関連の成書や学会誌、また日本歯科医学会学術用語集や日本補綴歯科学会用語集など専門分野での用語も丁寧に蒐集しつつ、古くなった用語は棄却し、さらに進歩に伴う新しい用語は可能なかぎり取り入れました。この発刊に至るまでの旧評議員、旧理事のご指導・ご支援に感謝いたしますとともに、賛助会員の方々、学会事務局、医歯薬出版編集関係者に対してもお礼を申し上げます。

会員各位はこの新しい用語集を是非とも活用され、この用語集にある用語を使用して優れた学会発表や論文作成を行って下さい。委員会全員はこのことを強く望みます。

認定委員会

委員長 松沢耕介

認定委員会は昨年度最終理事会で公益法人移行に伴う今までの各種申請方法の大幅な見直し案を了承いただき、今年度より施行するようにホームページに登載いたしました。今年度より新規採用されました方式によって認証医、専門医、指導医の申請を行う先生につきましては新方式の書式で申請を行ってください。又それぞれの更新を行う先生につきましても記載につきましては各号様式についての注意事項、特に付表2及び申請用紙3号様式の総ポイントの変更等につきましても充分注意して申請書の作成をお願い申し上げます。

試験委員会

委員長 阿部成善

試験委員会では認証医、専門医、指導医取得の試験に係わる一連の仕事に対する諸活動を行っています。第41回日本口腔インプラント学会総会(名古屋)での試験日9/14(木)15(金)で行われるケースプレゼンテーション試験に230数名の申請がありました。合格するとケースプレゼンテーション論文を提出できるようになります。今回からはWebでの投稿となりましたので情報提供を見逃さないようにしてください。

国際渉外委員会

委員長 渡邊文彦

国際渉外委員会は海外との学術交流、本学会学術大会での海外からの演者の招聘や連絡を行っている。昨年度はアジアセッション、学術協定を結んでいるDGI(ドイツインプラント学会)からの特別講演者の招聘、また当日の座長などを行った。2010年に開催された第40回学術大会ではチュービンゲン大学よりGomez教授が来日されたが、滞在期間のお世話と国際セッションの座長を行った。また、同年11月25日～27日にドイツHamburgで開催されたDGIの学術大会に川添堯彬理事長の代理として国際渉外委員長の渡邊文彦と学術委員長で国際渉外委員でもある前田芳信がDGIから招待を受け、学術協定に基づき30分間の講演を行った。

倫理委員会

委員長 後藤昌昭

日本口腔インプラント学会では会員の倫理規程ならびに倫理懲戒調査規則を定めております。しかし、われわれは学会会員である以前に、歯科医師としての職業倫理を遵守しなければなりません。さらに、臨床研究に関する倫理指針、疫学研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、遺伝子治療臨床研究に関する指針等を理解して対処しなければなりません。会員におかれましては、倫理規程や各種の指針は歯科医師として守るべき当然のこととして臨床、研究、教育にあたっていただきたいと思っております。

医療・社会保険委員会

委員長 伊東隆利

委員会が平成22年9月17日15時～、第40回日本口腔インプラント学会(札幌)の会期中に開催された。

新委員候補として築瀬武史先生が紹介され、その後の理事会において承認された。築瀬委員には禁煙学術ネットワークに一員として参加していただいている。

これまでの医療安全活動に加えて、次年度はインプラント治療の社会的な貢献の紹介をするべく、次回の大会では口唇口蓋裂者へのインプラントの適用についてシンポジウムを開催するよう準備している。

広報委員会

委員長 春日井昇平

広報委員会の主目的は学会員に広く広報活動を行うことですが、さらに本委員会には社会一般に対しても広報活動を行うことも求められています。本委員会の活動は、インプラントニュースの編集発行と、学会ホームページからの情報発信です。本年度はホームページを一新しましたが、今後は社会一般への情報発信を積極的に行っていきたいと考えています。学会ホームページを含めて広報活動に関して、御意見あるいはまた御質問ありましたらメールで御連絡下さい。

表彰委員会

委員長 榎本紘昭

表彰委員会では、毎年本学会の顕彰部門に関して、名誉会員・学会特別功労賞・学会特別賞などの推薦のあった候補者について、名誉会員規程・表彰制度規程、内規に則り、その審査、および選考を行い、また学会特別論文賞他各賞についても、同じく表彰制度規程および内規に基づき、審査および選考を行う。審議選考した結果は、理事会へ答申する重責を担う。

インプラント専門歯科衛生士委員会

委員長 永原 國央

平成22年度は、専門歯科衛生士認定試験がスタートしました。試験日は平成23年2月6日(日)とし、平成22年12月12日に申請者の書類審査及び第1回委員会を開催しました。7名の申請があり書類審査を合格し、全員試験を受験されました。第2回委員会の開催も試験同日に行い、平成23年度の専門歯科衛生士教育講座講師の選定、第41回日本口腔インプラント学会学術大会での、歯科衛生士セミナー等の企画を最終決定しました。

インプラント専門歯科技工士委員会

委員長 末瀬一彦

インプラントに関わる歯科技工もCAD/CAM機器の普及やシステム化によってシンプル化してきました。しかし、天然歯の補綴装置の製作とは異なり極めて高い精密性が要求され、歯科医師とのコミュニケーションも重要になっています。口腔

インプラント学会が認定する専門歯科技工士制度は、常に最先端の内容の技術力を高めていただくための講習会やセミナーを開催しています。また、ホームページを通して「インプラント専門歯科技工士」を情報発信し、歯科医療関係者にも認知していただいています。現在、本学会所属の歯科技工士は508名で、そのうち専門歯科技工士は314名(62%)です。本学会に入会され、先端の歯科技工技術を研鑽される歯科技工士の増加を図ることも重要ですが、すでに入会されておられる歯科技工士のみなさんには、ぜひとも専門歯科技工士を取得していただき、インプラント技工の専門領域において指導的立場をとっていただきたいと思います。平成22年度からは暫定期間も終わり、制度規程に則った申請及び審査を行っています。申請書類は明確に記載され、特に症例提示では、内容の把握できる鮮明な写真を添付して下さい。自らの歯科技工物に自信があれば、症例写真も極めて鮮明です。

今期の申請期間は平成23年9月1日～9月30日、試験審査日は平成23年11月20日です。

多くの先生の申請を期待しています。

中央選挙管理委員会

委員長 高橋康則

日本インプラント学会も正式に公益法人になりました。委員は継続し現在副委員長に小倉市開業の中野充先生、委員に京都市開業の古原英男先生、山口県下松市で開業の田中 悟先生、浜松市開業の山口陽道先生、東京都文京区開業の志賀泰昭先生、東京都杉並区開業の藤野 茂先生、そして私の6名の委員で中央選挙管理委員会を運営しております。ご承知の通り中央選挙管理委員会は2年に一度の会長選に向けて活動しておりますので、改選年の4月1日以降に中央選挙管理委員会を開催し改選年の4月1日現在の支部毎の正会員数の確認を行っており、特に毎年の報告はごさいません。今年度は来年に向けての準備期間ですが、公益法人化により代議員による会長選挙が実施されます。現在まで委員会を開催しておりませんが必要な時に開催を考えております。中央選挙管理委員会の使命は大変重要であると考えており、会員の皆様には今後ともご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

平成 23 年度 支部学術大会一覽

開催数 支部名	学術大会開催日 および 大会長	会 場 (住所・TEL)	大会事務局 (住所・TEL・担当者)
第31回 東北 北海道	平成23年 11月5日(土)～6日(日) 第31回大会長：福田 雅幸	秋田県民会館・秋田県生涯学習 センター 分館ジョイナス 〒010-0875 秋田県秋田市千秋明德町2-52 TEL：018-834-5055 FAX：018-834-5056	秋田大学医学部附属病院歯科口腔 外科 〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1 TEL：018-884-6188 FAX：018-884-6451 高野裕史
第31回 関東 甲信越	平成24年 2月11日(土)～12日(日) 第31回大会長：春日井昇平	京王プラザホテル 〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 TEL：03-3344-0111(代表)	東京医科歯科大学 インプラント・口腔再生医学 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL：03-5803-5774 FAX：03-5803-5774 塩田 真
第32回 中部	平成23年 9月16日(金)～18日(日) 第41回年次学術大会併催 第32回大会長：堀田 康記	名古屋国際会議場 〒464-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西 町1-1 TEL：052-683-7711(代表) FAX：052-683-7777	愛知学院大学歯学部高齢者歯科 学講座 口腔インプラント科内 〒464-8651 愛知県名古屋市千種区末盛通 2-11 TEL：052-751-7191 FAX：052-751-7193 村上 弘
第31回 近畿 北陸	平成23年 12月10日(土)～11日(日) 第31回大会長：正田 農夫	奈良県文化会館 〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2 TEL：0742-23-8921 FAX：0742-22-8003	奈良県立医科大学口腔外科学講座 〒634-8522 奈良県橿原市四条町840 TEL：0744-22-3051 FAX：0744-29-8876 川上哲司
第31回 中国 四国	平成23年 10月15日(土)～16日(日) 第31回大会長：浜川 裕之	15日(土) 愛媛県歯科医師会館 16日(日) 松山全日空ホテル 15日(土) 〒790-0014 愛媛県松山市柳井町2-6-2 TEL：089-933-4371(代表) FAX：089-932-5048 16日(日) 〒790-8520 愛媛県松山市一番町3-2-1 TEL：089-933-5511(代表) FAX：089-921-6053	羽倉歯科医院 〒799-2118 愛媛県今治市波止浜11-169 TEL：0898-36-5151 FAX：0898-36-5207 羽倉隆昌
第29回 九州	平成24年 1月21日(土)～22日(日) 第29回大会長：松井 孝道	宮崎シーガイア ワールドコンベンションセンター 〒880-8545 宮崎県宮崎市山崎町浜山 TEL：0985-21-1166 FAX：0985-21-1315	根井歯科医院 〒880-0824 宮崎市大島町原ノ前1445-35 TEL：0985-29-7169 FAX：0985-29-7164 根井俊輔

新入会者紹介

(平成 23 年 1 月 4 日～平成 23 年 6 月 7 日)

▼東北・北海道支部

(北海道) 萩原亜津子, 藤村崇央, 岡 和也,
鈴木宣充, 山崎弘太郎, 虎谷 彌, 皆川和美,
三田理博, 原橋宏幸 濱 秀樹, 長 太一,
森 公寿, 淀川慎太郎, 小森美香, 工藤昌之,
萩原 淳
(岩手県) 熊谷順也, 松本知生, 味岡 均,
武部 純, 伊藤茂樹, 宮田京平, 三浦真悟,
折祖研太
(宮城県) 藤川 亮, 工藤雅照, 泉 哲,
今野 渚, 斎藤雅子, 佐々木麻衣,
(秋田県) 石川 亨, 遊佐和之
(山形県) 五十嵐亮
(福島県) 吉津 誠, 金澤貴昭

▼関東・甲信越支部

(茨城県) 小林和眞, 北澤吉基, 斉藤英雄,
MATIN KHAIRUL, 篠塚啓二
(群馬県) 細井麻生, 渡邊 潤, 寺島綾美
(埼玉県) 岡 彰, 田口茂和, 篠崎英之,
松山博康, 澤恵二郎, 柳原隆志, 平野久美,
角田英司, 上田大輔, 篠田宗孝, 畠山佳大,
荻野未来, 田邊達彦, 佐藤 敦, 佐々木妥啓,
定岡博之
(埼玉県) 平野頼是, 松田裕也, 澤田幸作,
川島史絵, 横山研士郎, 高橋尚子, 吉田光孝,
安田博宣, 小山 拓, 岩井 聡, 山田剛司,
及川義久, 平野友基, 田中智久, 本淨 敏,
西田隆之, 藤本俊輝, 升田菜穂子, 大沢良之,
岩田優行, 青木繁生
(東京都) 長嶋雄樹, 三宅甲太郎, 尾上 剛,
服部千絵, 高松 緑, 津川順一, 稲葉美穂,
高橋靖子, 飯田 敦, 佐々木智生, 柴田佳奈子,
菊池龍介, 吉野由佳梨, 中西 稔, 杉山靖史,
天野五郎, 近藤秀男, 伊能教夫, 小松 裕,
熊田昌幸, 小澤大輔, 谷村将光, 土屋雄一,
天野大地, 飯田 聡, 落合正英, 山口麻由,
高野 悟, 下岸将博, 上野 浩, 門田 崇,
宮本奈津子, 内山徹哉, 須賀友哉, 越水大我,

野呂岳人, 大森美由紀, 室積秀正, 若林志保,
益山純太, 高 尚, 宮本一世, 笹生宗賢,
宮坂宗充, 菅原一恵, 岩久佳苗, 松本直人,
檀 知里, 乙丸貴史, 関根憲太郎, 齋藤哲也,
曾我彦彦, 志鎌理恵, 佐藤成実, 新美勝海,
牛田 環, 長谷川雄一, 成田達哉, 新井一平,
長嶺彩夏, 上條竜太郎, 須澤徹夫, 岡田雄也,
宮本洋一, 今北千春, 久保田陽香, 深沢隆宏,
廣瀬英晴, 小樋香織, 久我 明, 久保卓也,
持丸みずぎ, 高村昌明, 浪越智子, 小林裕直,
田上順次, 鷺鷹佐知子, 小柳岳大, 山田 篤,
楠本雄生, 加藤純子, 鎌田征之, 青 藍一郎,
大場絵梨, 山本麻衣子
(神奈川県) 濱本正太郎, 番家雅子, 河野 岳,
萩尾信輔, 沓名壽文, 竹林秀人, 鈴木拓也,
宮木太郎, 相原理絵, 近藤 猛, 石橋 翼,
穴澤順之進, 吉原正剛, 伊藤正尚, 吉田 元,
添田博充, 田上哲克, 三谷玄典, 杉山秀太,
大木 烈, 金塚文子, 鄭 康鉉, 山口琢央,
太田玲美子, 菅原克彦, 後藤優実
(新潟県) BHUIYAN MD ALAMIN, 勝田康弘,
黒川 亮, 阿部晴弘, 勝沼智彰, 五十嵐健輔
(山梨県) 川手秋馬
(長野県) 笠原隼男, 相澤仁志, 小関道彦,
杉野紀幸, 牧井覚万, 戸木田怜子

▼中部支部

(岐阜県) 岡 勇輝, 近藤雄三, 只腰哲章,
小林弥生, 佐藤 淳, 戸田秀治, 松葉敬文,
亀山正道, 糟谷賢司, 堀江佳代, 飯田幸弘,
酒向秀明, 蔵 研也, 青木貴子
(静岡県) 瀬尾彩乃, 深谷芳行, 竹川綾香,
若林正樹, 江頭寿洋, 田村彩乃, 竹川冴香,
杉山啓之
(愛知県) 見田常幸, 小澤謙盛, 宮本佳宏,
普山田宏成, 大野公稔, 福嶋翔平, 登坂百合子,
平岩輝彦, 岡崎伸一, 鈴木 明, 河野文音,
柘植静香, 平口智絵, 安藤裕康, 塚本継也,
山村洋志明, 鳥居亮太, 石川 純, 福田幸太,

三原こころ, 原田 聡, 若林絹子, 岡田智子,
谷口真一, 河合孝真, 大杉将嗣, 河村 玲,
寺本清峰, 神原 亮, 林 達秀, 浅野惇太,
若林一夫, 若山博隆, 田中清雄, 古田弘樹,
森田斉志, 棚瀬照子, 小森真吾
(三重県) 永田卓之

▼近畿・北陸支部

(富山県) 吉江正隆
(石川県) 益山沙也香, 谷内口佳代, 武田敦子,
安立圭志
(福井県) 遠矢東昭, 吉村仁志, 生田伸之
(滋賀県) 倉田あゆみ, 金城達郎, 高森翔子,
上原正典, 長谷川万里子
(京都府) 鈴木佐知子, 柴田啓貴, 中村亜紀,
井津智明, 田村佳那, 上原久晴
(大阪府) 中西 茂, 越智信行, 北川直人,
湯浅直樹, 谷田司幸, 矢谷真也, 加藤時規,
山下英明, 向井あかね, 佐々木淳一, 中道里佳,
辻 貴裕, 高原正好, 稲田明子, 石原祐子,
福安 翔, 福垣 健, 荒田千鶴子, 梅垣輝生,
石井由佳利, 久保裕睦, 錦 勲, 今里 聡,
興梠亜理紗, 吉村公秀, 太田之博, 安永あゆみ,
安田 耕, 小山直浩
(兵庫県) 高寺和也, 山添光芳, 石田敬祐,
小野圭三
(奈良県) 山中利恭, 高田利之, 平本英人,
堀田 聡

▼中国・四国支部

(鳥取県) 近 豊浩
(岡山県) 佐伯真未子, 山本桂輔, 森島 寛,
黒崎陽子, 中野裕元, 吉岡裕也, 千神八重子
(広島県) 富本麻美, 香川和子, 東森秀年,
中川貴之, 青戸光紀, 松浦 歩, 小早川尚史,
MARETANINGTIAS DWI ARIANI, 坂本智則,
宇都宮晶子, 尾田友紀
(山口県) 布巻裕子, 布巻純治, 松田瑛里
(徳島県) 伊藤照明, 藤守訓章, 渡部賢次,
河野慎二, 浜崎光志, 岩脇有軌, 張 剛太
(香川県) 中塚智昭
(愛媛県) 北村好隆, 船木憲久, 瀧村あゆみ,
高木美帆
(高知県) 本山禎朗, 藤戸裕次

▼九州支部

(福岡県) 待永智華, 清水秀夫, 帆鷺美織,
山下英俊, 中川隆志, 安波礼之, 宮城光志,
近藤稜介, 大城和可奈, 渡辺比呂子, 森谷圭介,
山本麻貴, 岩鍋裕次郎, 片山太郎, 柄 慎太郎,
大野 純, 福島忠男, 染矢祐孝, 山口雄一郎,
平良 祥, 下川 穰, 小林 亨, 田中秀明,
小野口 康
(佐賀県) 中村 優, 林 好美, 安原八恵子
(長崎県) 中島 潤, 林 太郎, 高瀬一馬,
寺野元博, 加藤初実, 安武宗徳, 吉澤 祐
(熊本県) 久貝聖子, 一ノ宮はるみ,
中山史歩, 川添和徳, 安田優里恵, 森崎 睦,
中川智美, 小野恒佑, 井口佳大
(大分県) 福田竜一
(宮崎県) 岩切健太郎, 牟田謙一
(鹿児島県) 中村典史, 犬童寛子, 上村裕希
(沖縄県) 金城史明

(以上 407名)

お知らせ

東北地方太平洋沖大地震により、
被災された会員については年会費を
3年間免除することが本会理事会で
承認されました。

※ 所定の申請書が必要です。

また被災地への歯科医療従事者、
検案参加者の調査をしております。

詳しくは学会ホームページをご覧
下さい。

第40回 学術大会 学術委員会企画シンポジウム 「信頼できるインプラント専門医の条件, 長期経過の予測と対応を知る」から

学術委員会委員長 前田 芳信

第40回大会のメインテーマは「信頼性あるインプラント専門医」であったので「信頼できるインプラント専門医とは, 長期経過の予測ができかつ対応ができる」として学術委員会では, 外科補綴などのインプラント治療の多様な側面から長期的な経過において生じる可能性のある変化とその対応をとりあげた。

大塚委員からは外科的処置の立場から, 「単独の場合に比べ, 複数のインプラントを埋入する場合に, 長期的に骨吸収が進行することを予測する必要がある」との指摘がなされた。また古谷野委員は補綴の立場から「上部構造に関する問題を引き起こすリスクファクターを十分に理解し, リスクファクターについて治療計画の中で考慮するとともに, 経過観察の際に注視し, 必要な場合には速やかに適切な対応を行う必要がある」と述べた。また武田委員は, 補綴処置の立場から「インプラントおよび周囲組織, そして, 欠損歯列の変化は, 力に影響されることが多く, 定期検診時には咬合の変化に注視し, 必要な対応を継続していくこと

が必要となる」との提言があった。

また松井先生(九州支部)からはメンテナンスにおいて「インプラント周囲炎は汚染の状態によって治療法と予後が大きく影響されるため, 早期に発見して, 汚染が進行しないうちに対処する必要がある」。さらに池邊先生(大阪大学)は, 患者の高齢化について「加齢にともない全身状態が変化することが多いため, メンテナンスが容易な上部構造を選択するとともに, 家族, 介護者, 医療従事者に正しくインプラントについて理解してもらう必要がある」と指摘した。

すでにインプラント治療には長期症例が存在している。たとえインプラント治療の経験年数が短くても, インプラント治療の将来像を知っておくとともに, 生じるであろう事象を, 予測し, 予防する必要があるとともに問題が生じた場合であっても適切に対処できるよう, 本学会や研修施設の勉強会に積極的に参加して継続した研修を積むのが信頼できるインプラント専門医の一条件であると考えます。

第40回 学術大会 教育委員会企画シンポジウム 「インプラント治療を難易度から考える」報告

教育委員会委員長 渡邊 文彦

インプラント治療の予後を左右する因子には患者側と術者側の要件に分けられる。患者側の要件は全身状態, 局所状態, 審美的要求度, 精神状態, 喫煙, ブラキシズムなどの有無があり, これに対

して術者の要件としてはインプラント外科治療技術, 咬合, 技工技術と上部構造の適合性, 設計, メンテナンスやリコールシステムの構築がある。患者さんの状態, 治療に対する要求度は様々であ

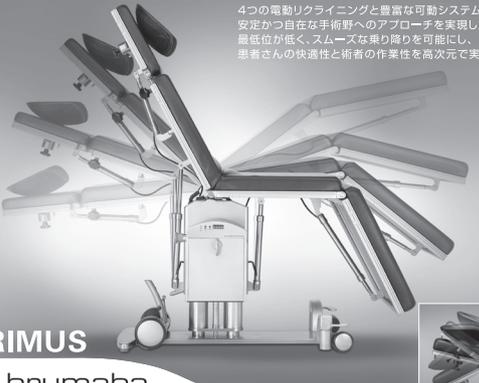
る。我々の一人一人の治療技術は異なり、患者さんの口腔内の状態や希望が自分の持つ治療技術より高い場合がある。これらの点から患者さんの難易度を口腔内の状態や、要求度を考慮して分類し、どのような治療を行うべきかを再度、インプラント埋入手術の面から、また咬合の面から新潟再生歯学研究会、日本歯科大学新潟病院 臨床教授榎本紘昭先生と医療法人UC会、東京医科歯科大学附属病院 臨床教授菅井敏郎先生に講演を頂いた。榎本先生は「欠損様式なら難易度を考える」のテーマで、インプラント治療で目指す回復は天然歯列と同様であり、上下顎歯列がClass 1で嵌合し、それぞれが頭蓋・顔面正中線に対してほぼ対称的に配列、回復されることである。臼歯部での咬合支持と前歯群によるアンテリアガイドナスが共存していることで正常機能が保たれると報告した。また歯列を回復することが患者の希望で

のあり、一人一人欠損状態は異なり、インプラントに課せられる役割はまた異なる。このようなことから欠損歯列からみる難症例とはどのような症例であるのか、またこれらの症例に対してどのようなインプラント修復を行うのかを報告した。一方、菅井先生は「SAC分類を用いたインプラント治療の難易度の理解」のテーマで講演、今日インプラント治療への期待は適応症拡大、審美回復など患者の要求度は高くなっており、そのため審美領域や骨造成を伴う症例では、必然的にインプラント治療の難易度が高くなる。経験の浅い術者が難易度を理解せずにインプラント治療を試みることは失敗や事故を招きかねない。このようなことからSAC分類(S：スタンダードレベル、A：アドバンスレベル、C：コンプレックスレベル)を基に症例を通して難易度、対処法や注意点を解説した。



左・右、立位・座位、
極めたのは、全方位自在な
手術野へのアプローチ。

4つの電動リクライニングと豊富な可動システムにより、安定かつ自在な手術野へのアプローチを実現したブルマバ。最低位が低く、スムーズな乗り降りを可能にし、患者さんの快適性と術者の作業性を高次元で実現しました。



PRIMUS

brumaba

NEW! PRIMUS / GENIUS プリムス・ジニアス

- 販売名 プルマバ OP プリムス / プルマバ CL ジニアス
- 型式 OP PRIMUS / CL GENIUS
- 電源 バッテリーDC24V 容量20A / AC100~240V
- 機器の分類 一般医療機器(クラスI)特定保守管理医療機器(共通)
- 医療機器届出番号 26B1X00001000508 / 26B1X00001000509
- 一般的名称 汎用電動式手術台(共通)
- 標準価格 5,980,000円 / 3,980,000円

※標準価格は2010年4月21日現在(消費税別)のもので、仕様および外観は製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

必須機能を厳選した
ベーシックモデル。



GENIUS

発売 **株式会社モリタ**

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18
〒564-8650 TEL(06)6380-2525

東京本社 東京都台東区上野2-11-15
〒110-8513 TEL(03)3834-6161

www.dental-plaza.com

製造販売 **株式会社モリタ製作所**

本社 工場 京都府京都市伏見区東浜南町680
〒612-8533 TEL(075)611-2141

久御山工場 京都府久世郡久御山町大字市田小学新珠城190
〒613-0022 TEL(0774)43-7594

広報委員会からのお知らせ

前年度に引き続き春日井昇平(東京医科歯科大学)が委員長を務めます。現在の広報委員会のメンバーは以下の通りです。

委員長：春日井昇平

副委員長：五十嵐俊男

委員：山内六男、嶋田淳、十河基文、
内藤宗孝、北川昇、土屋直行

今後とも広報委員会は、ニュースレターとホームページを通じて会員の皆様に学会の情報を素早く正確に伝達するよう努力致しますので宜しくお願い致します。ご意見、ご要望等ございましたら、以下の連絡先にご連絡ください。

〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学インプラント・口腔再生医学 春日井昇平

電話：03-5803-5934

ファックス：03-5803-5934

メールアドレス：kas.mfc@tmd.ac.jp

インプラント学会

検索

目 次

第41回 学術大会迫る	1
第41回 学術大会プログラム	2~3
研修施設新設・変更	4
平成22年度 指導医合格者	4
平成22年度 専門医合格者	4~5
平成22年度 専門歯科衛生士合格者	5
平成22年度 専門歯科技工士合格者	5
第7回 口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会開催報告	6~7
第2回 BLS 講習会報告	8
専門歯科衛生士委員会から	9
新役員紹介	10
各種委員会委員名簿	11
各種委員会紹介	12~14
平成23年度 支部大会一覧	15
新入会者紹介	16~17
第40回 学術大会シンポジウムについて(学術委員会)	18
第40回 学術大会シンポジウムについて(教育委員会)	18~19
広告	19~20
目次	20

新しい可能性を探る。
それも、ジーシーの仕事です。

“GC”

MAINTENANCE

- DePROS (Dental Prescale Occlusal System)
- PFC TOOLS
- PRIMAidm
- RUSCELLO TOOTHBRUSH

DIAGNOSIS

- ProMax 2D/3D
- ProMax 3DMax
- Romexis

REGENERATION

- MEMBRANE GTR (GBR)
ジーシーの再生医療分野の研究開発

CEMENTATION

- UNOEMAX
- GCEN
- Fuji Luting

IMPLANT BODY

- SETIO (EXTERNAL)
- GENESIO (INTERNAL)



**ADVANCED TECHNOLOGY
TOTAL INTEGRATION**

LAYERING MATERIAL

- GRADIA
- GRADIA FORTE

COPING

- Aadva ZIRCONIA

ABUTMENT

- FD ABUTMENT
- PREPARATION ABUTMENT
- UCLA ABUTMENT
- CONICAL ABUTMENT

CAD/CAM SYSTEM

- Aachi Scan
- DENTAL CAD/CAM GN4
- GN4 MEASURING MACHINE
- GN4 MILLING-MACHINE

**先端技術を統合させたシステムで、
世界中の臨床家をサポートします。**



Aadva
- ADVANCED TECHNOLOGY -

株式会社 ジーシー

掲載の内容は、2011年2月現在のものです。
製品構成・仕様・外観は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

JMM JAPAN MEDICAL MATERIALS



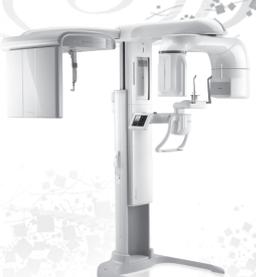
POIEX

(POI ファイナフィクス 医療機器承認番号 20300BZZ00313000)
(POI ファイナタイト 医療機器承認番号 20500BZZ00083000)



**PreVista
Uni-3D Multi**

医療機器認証番号：221AABZXX00124000



日本メディカルマテリアル株式会社

大阪市淀川区宮原3丁目3-31(上村ニッセイビル10F) 〒532-0003
Tel:06-6350-1036 Fax:06-6350-5736 <http://www.jmmc.jp/>

東京支社 東京都新宿区西新宿2丁目4-1(新宿NSビル10F) 〒163-0810
Tel:03-5339-3627 Fax:03-3343-3096

名古屋営業所 名古屋市東区葵3丁目15-31(住友生命千種ニュータワービル6F) 〒461-0004
Tel:052-930-1480 Fax:052-938-1388

大阪営業所 大阪市淀川区宮原3丁目3-31(上村ニッセイビル8F) 〒532-0003
Tel:06-6350-1007 Fax:06-6350-8157

九州営業所 福岡市博多区博多駅東2丁目10-35(JT博多ビル7F) 〒812-0013
Tel:092-452-8148 Fax:092-452-8177